

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 640 号

平成29年 2 月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645) 1 9 0 6
FAX 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高橋 三 男

編集責任者 大橋 邦 啓

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

(公社)埼玉県獣医師会主催

ボウリング大会の開催…………… 1
埼玉県獣医師会の新年会に出席…………… 3

会務報告

平成29年度 集合狂犬病予防注射関係資料
売買契約会…………… 4

予告

さいたま市支部学術講習会のお知らせ…………… 5
西支部学術講習会のお知らせ…………… 5

ひろば

顧問税理士による所得税の確定申告等
個別相談会を開催…………… 6
西支部学術講習会開催報告…………… 6
北支部講習会及び新年会開催報告…………… 7
さいたま市支部学術講習会開催報告…………… 7
平成28年度東支部新年会開催報告…………… 8

お知らせ

健康牛のBSE検査の見直しについて…………… 8
高病原性鳥インフルエンザの発生予防対策の
強化及び徹底について…………… 9
韓国における口蹄疫の発生について……………10
埼玉県における豚流行性下痢 (PED) の
発生について……………11

切り抜きニュース

○犬猫推計飼育数
ー昨年ともに微減ー……………12
○イヌ・ネコの国内流通 85万匹……………12
○別種動物で臓器作製
ー世界初、移植治療で効果確認ー……………12

埼玉県獣医師会学術広報版 ……………13

事務局より

事務局メモ……………15

編集後記……………16

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

(公社)埼玉県獣医師会主催

ボウリング大会の開催

平成29年2月12日(日)、埼玉県獣医師会主催のボウリング大会が、スポーツ浦和国際ボウル(さいたま市)を会場に40名が参加して開催されました。

この大会は、埼玉県獣医師会の厚生事業の一環として会員やそのご家族、賛助会員等の健康増進と親睦を目的としています。

大会運営には、ボウリング同好会の先生方のご協力をいただき、厚生委員会があたりました。



開会式で挨拶する高橋三男会長



開会式

開会式

厚生委員会の米元仁委員(西支部)の司会により、午後3時40分から開会式が行われました。

中村 滋副会長による開会の言葉、高橋三男会長の挨拶に続き、賛助会員様からのご協賛品の紹介、注意事項などの説明があり、高橋会長の始球式により午後4時10分から競技が開始されました。

各賞を目指して熱戦が繰り広げられる

参加者が3名ずつ16レーンに分かれて熱戦を繰り広げました。性別と年齢によりハンデキャップを設け、1人2ゲームを投球した合計点で競いました。

参加者のレベルが年々高くなっているのを踏まえて、今年はハンデキャップを1ゲームあたり一律20下げで行いました。

競技は厚生委員やボウリング同好会の先生方の円滑な運営により、和やかなうちに進み、各レーンではハイタッチする光景や、笑い声、歓声が響き、楽しいひとときを過ごされていました。



高橋会長による始球式

表彰式

午後5時30分から表彰式が行われ、司会者から成績が発表されました。

上位の成績は次のとおりですが、優勝は、昨年に引き続いて小川 実先生(農林支部)に輝き、高橋会長から賞状、優勝トロフィー、記念品が贈られました。小川先生は、ご本人からの申し出もありハンデキャップを半分にして行ったにもかかわらず、見事優勝され、同好会レベルの実力を発揮されました。



熱戦が繰り広げられる

上位成績

		スクラッチ	ハンディ	合計
優 勝	小川 実先生(農林支部)	362	40	402
準優勝	斎藤和也先生(さいたま市支部)	388	0	388
3 位	吉川康一先生(さいたま市支部)	284	80	364
4 位	林 繁雄先生(農林支部)	249	100	349
5 位	小澤正信 (事務局)	268	80	348
ハイゲーム 男子 斎藤和也先生(さいたま市支部)		202		
	女子 岸田祐子さん(株アスコ)	138		

今年は、特別賞として「ハイゲーム賞」、「ブービー賞」、「ブービーメーカー賞」、「ニアピン賞」、「当日賞」、「飛び賞」が設定されました。「ハイゲーム賞」は男子部門で202点の斎藤和也先生(さいたま市支部)が、女子部門は138点で岸田祐子さん(株アスコ)が獲得しました。

「ブービー賞」は原 裕先生(農林支部)、「ブービーメーカー賞」は三澤 輔先生(さいたま市支部)となりました。

「ニアピン賞」は、高橋会長のスコアに最も近かった方で、1 ゲーム目が堅木道夫先生(西支部)、2 ゲーム目が竹内繭里さん(北支部)となり、「当日賞」は、大会日が12日であったため、12位の北島俊幸先生(南第一支部)となり、3 名の方には高橋会長に提供いただいた賞品「高橋会長賞」を会長から贈呈していただきました。

「飛び賞」は次の方々と、それぞれに賞品が贈られました。

7 位	安里 誠先生(衛生支部)	25位	原田夏衣さん(北支部)
10位	山本慎也先生(北支部)	30位	大橋邦啓先生(北支部)
15位	堅木道夫先生(西支部)	35位	三森信行先生(西支部)
20位	丸山盛司先生(農林支部)	40位	三澤 輔先生(さいたま市支部)



優勝した小川 実先生（農林支部）（右側）に賞状と優勝トロフィーを手渡す高橋三男会長



準優勝とハイゲーム賞のダブル賞を受賞した斎藤和也先生（右から2人目）を囲んで左から高橋三男会長、小暮一雄副会長、山中利之厚生委員長、斎藤和也先生（さいたま市支部）、中村 滋副会長

終わりにあたり、小暮一雄副会長が閉会の言葉を述べ、午後5時40分にボウリング大会は盛会裏のうちに幕を閉じました。

多くの方々に参加をいただく中、滞りなく進行し、交流を深めることができました。

厚生委員の先生方とボウリング同好会の斎藤和也先生を始めとする皆様方には、大会の準備や運営にあたりまして、絶大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。

また、賛助会員の皆様には、多くの方の参加と沢山の賞品等をご提供いただき厚く御礼申し上げます。

さらには、お忙しい中、ご参加いただいた先生方、ご家族の皆様に改めて感謝申し上げます。

埼玉県医師会の新年会に出席

平成29年2月4日（土）午後6時から、パレスホテル大宮で開催された埼玉県医師会主催の新年会「2017 新春の集い」に高橋三男埼玉県獣医師会長が来賓として招待され、中村 滋・小暮一雄両副会長とともに参加いたしました。

新年会には、国会議員や県議会議員、市町村長など多くのご来賓が招かれるなか、医師会会員をはじめ医療関連団体など700名を超す方々が出席しました。

主催者の金井忠男埼玉県医師会長の挨拶と来賓代表の上田清司埼玉県知事の挨拶などに続いて行われた「鏡開き」には高橋会長も登壇されるなど、盛大な新年会となり医師会や関連団体との交流を深めました。



鏡開きには高橋三男会長が登壇（右から2つ目の樽、左から2人目）

会務報告

平成29年度 集合狂犬病予防注射関係資材売買契約会

平成29年2月21日（火）午後1時25分から、埼玉県獣医師会事務局において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

埼玉県の集合狂犬病予防注射方式は全国で最もよい方法である。賛助会員の方々には、我々獣医師会と一体感をもってやっていただかないと、この集合狂犬病予防注射業務は遂行できない。集合狂犬病予防注射は、社会に貢献する重要な公益事業であるため、賛助会員の各社と十分に連携して実施できるよう努めてまいりたい。

2 協議事項

（1）平成29年度集合狂犬病予防注射関係資材売買契約について

各社から提出された狂犬病ワクチン及び注射用資材等についての見積価格を比較検討し、資材ごとに見積の最低価格を契約単価として各社と売買契約を締結することとなった。

（2）その他

集合狂犬病予防注射実施班ごとへの資材納入に当たっては、各社が班長と十分に連絡を取り、資材が円滑に納入されるよう要請した。

広告

大切な愛犬、
飼い主の皆様、
社会のために



動物用医薬品 劇要指示 〈狂犬病組織培養不活化ワクチン〉

狂犬病TCワクチン“化血研”



製造販売  **化血研** 一般財団法人 化学及血清療法研究所

熊本市北區大塚一丁目6番1号 〒860-8568

本所 ☎(096)345-6505(営業直通)

東京営業所 ☎(03)3443-0177

予 告

さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯教育研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小1(5) 小2(4))

さいたま市支部長 山中 利之

さいたま市支部では、第1回、第2回と連続して、東京大学附属動物医療センター 特任助教 荒田明香先生にご講演をお願いいたしました。

第2回目は、平成29年3月5日(日)「災害に伴う問題行動とその予防」というタイトルで、災害は、そのときに経験する恐怖と、その後の非日常的な生活から、動物たちにも大きな負担となります。一時的なストレスではなく、問題行動発現のきっかけとなってしまうことも少なくありません。起こりうる問題行動とその治療法を説明するとともに、予防のために日常生活の中で行っておくべきことを紹介いただきます。

より多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成29年3月5日(日)
13:30~17:00

場 所 大宮ソニックシティ 601会議室
さいたま市大宮区桜木町1-7-5
TEL 048-647-4111

演 題 「災害に伴う問題行動とその予防」

講 師 東京大学附属動物医療センター
特任助教 荒田 明香先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 無料
非会員 5,000円



西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4))

西支部長 別部 博司

西支部では、平成29年3月12日(日)に日本獣医生命科学大学 藤田道郎先生をお招きして『下部呼吸器疾患の診断と治療～透視X線や気管支鏡を用いた疾患の内側の観察と薬の意外な効能について～』の演題で講習を行います。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

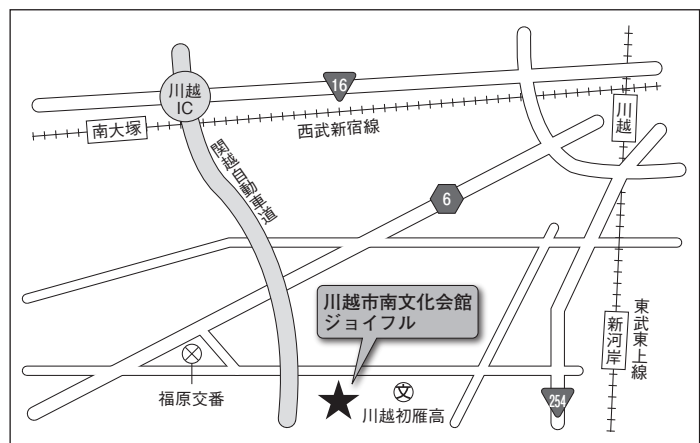
日 時 平成29年3月12日(日)
13:30~16:30 (13:00受付)

場 所 川越市南文化会館 (ジョイフル)
川越市今福1295-2
TEL 049-248-4115

演 題 「下部呼吸器疾患の診断と治療
～透視X線や気管支鏡を用いた
疾患の内側の観察と薬の意外な
効能について～」

講 師 日本獣医生命科学大学
藤田 道郎先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 無料
非会員 5,000円



ひろば

顧問税理士による所得税の確定申告等個別相談会を開催

平成28年所得税確定申告時期を迎え、本会顧問税理士 間嶋順一先生による「所得税の確定申告並びに生前贈与・相続等の個別相談会」を、2月2日（木）、埼玉県農業共済会館202会議室で開催しました。

この相談会は、会員の税務申告の便宜を図るため、毎年度開催しているものですが、この日、相談に訪れた会員は持参した資料を基に相談を受けておられました。

相談会を終えた顧問税理士の間嶋先生によると、個人事業の確定申告はこの時期にピークを迎えますが、普段から「現金の出入の記録を現金出納帳へ確実に記入しておく」、「領収書等の証拠書類を整理（例えば日付順など）しておく」ことが重要であり、継続的に取り組んでいただきたいとお話されておられました。

なお、税制も毎年変わっておりますので、相談を希望される場合は事務局を通じてお申し込みください。



個別相談に応じる顧問税理士 間嶋順一先生

西支部学術講習会開催報告

西支部学術委員 佐藤 博司

1月15日（日）川越南文化会館にて西支部学術講習会を開催いたしました。東京大学附属動物医療センター 本阿彌宗紀先生をお招きし、『膝関節疾患へのアプローチと外科テクニック 膝関節内方脱臼と前十字靭帯疾患』という演題でご講演いただきました。

疾患に苦しむ動物と開業獣医師にとって、価値ある講習にしたいとの強い決意のもと、科学的な証明と経験に基づいた確信あふれた講習でした。多くの先生が明日からの診療にすぐに生かせる内容でした。講師の本阿彌先生と参加して下さった先生方に、心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
42名	2名	3名	0名	28名	0名	4名	3名	2名

北支部講習会及び新年会開催報告

北支部長 大橋 邦啓

平成29年1月15日（日）埼玉グランドホテル深谷において、北支部講習会および新年会が開催されました。講習会では、どうぶつ眼科EyeVet 小林一郎先生に「緑内障の診断と治療」と題しまして、ご講演をいただきました。限られた時間の中で、非常にわかりやすく基礎的分野から治療法にいたるまでご講義くださいました。

また、高橋会長のご出席を賜り、新年のご挨拶もいただき、新しい一年が始まる身の引き締まる気持ちになりました。

引き続き行われた新年会は、講師の小林先生も参加され活発な質問もなされていたようで、和やかな中に終了いたしました。

<参加者内訳>

出席者	南第二支部	北支部	東支部	農林支部	団体支部	会員外
28名	1名	21名	1名	1名	1名	3名

さいたま市支部学術講習会開催報告

さいたま市支部学術委員 土谷 寛

1月29日（日）With Youさいたまにて、さいたま市支部学術講習会を開催いたしました。行動学という分野については、なかなか学ぶ機会も少なく、今回、東京大学附属動物医療センター 荒田明香先生には、症例も交えて大変わかりやすくご講義いただきました。

また、質疑応答でも多くのご質問をいただき大変有意義な講習会になりました。

3月5日にもご講演をお願いしておりますので、多くの会員のご参加をお待ちしております。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
39名	27名	3名	2名	1名	0名	0名	6名	0名

平成28年度東支部新年会開催報告

東支部支部長 八木 賢裕

1月22日（日）越谷市 越谷サンシティにて平成28年度東支部新年会を開催いたしました。

支部員の先生方70名の出席、来賓として高橋三男埼玉県獣医師会長、中央家畜保健衛生所所長 丸山盛司先生、熊谷家畜保健衛生所所長 宇田川浩一先生、獣医師会賛助会員の方々の出席と大変盛大な新年会となりました。

第一部では、小田副支部長の司会で、八木支部長の新年の挨拶、業務連絡をつつがなく行い、高橋会長に新年の祝辞のお言葉を頂きました。

第二部では、第一部に引き続き小田副支部長の司会で、初めに丸山盛司先生に祝辞のお言葉、宇田川浩一先生に乾杯の挨拶を頂き、宴会の開始となりました。

また宴会の盛り上げ余興として幸手班 大橋先生主導のもと2名の女性ボーカリストのステージ、飛び入りシンガーとして幸手班 杉田先生、春日部班 森田先生のステージパフォーマンスで大いに宴会を盛り上げてくれました。

そして2時間の宴会時間もあっという間に過ぎ去り、会の最後は渋谷副支部長にしっかりと締めていただきました。

普段なかなかゆっくりと支部員の先生同士で食事やお酒を飲む機会がない中、本年度も八木支部長のもと、東支部は一致団結を確認できた一日でした。

お知らせ

畜安第806-1号

平成29年1月30日

埼玉県獣医師会長 様

埼玉県農林部畜産安全課長

岩 田 信 之（公印省略）

健康牛のBSE検査の見直しについて（通知）

日頃から家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

現在、国内でと畜される健康牛のBSE検査につきましては、48か月齢超の個体全頭を対象として実施されているところです。

この度、健康牛のBSE検査について、別添のとおり厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長及び農林水産省生産局畜産部長から通知がありました。当該検査については平成29年4月1日から下記のとおり見直しが行われる予定です。

つきましては、貴会におかれましても、この旨御承知おきくださいますようお願いいたします。

なお、農場死亡牛のBSE検査につきましては、平成29年4月1日以降も従前のとおり実施されます。

記

- 1 48か月齢超の健康牛BSE検査を廃止する。
- 2 全てのと畜牛に対する生体検査は引き続き実施し、24か月齢以上の牛のうち、神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するものを対象としたBSE検査を行う。

※別添省略

28日獣発第293号
平成29年 2月14日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
(公印及び契約の押印は省略)

高病原性鳥インフルエンザの発生予防対策の強化及び徹底について

このことについて、「高病原性鳥インフルエンザの発生予防対策の強化及び徹底について」(平成29年2月1日付け28消安第4814号)をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、昨年11月から本年1月にかけて高病原性鳥インフルエンザが発生したこと、また全国的に野鳥等でも同ウイルスが確認されており、いづどこにおいても本病が発生するおそれがあることを踏まえ、家きん飼養者に対し引き続き厳重な警戒を呼びかけるとともに、関係者への発生予防対策に係る助言・指導を依頼する旨、都道府県知事あて通知したことにについて本会会員への周知が依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

28消安第4814号
平成29年 2月1日

都道府県知事 殿

農林水産省消費・安全局長

高病原性鳥インフルエンザの発生予防対策の強化及び徹底について

本年1月30日に、「食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会第62回家きん疾病小委員会」及び「平成28年度冬季に発生した高病原性鳥インフルエンザに係る疫学調査チーム第1回検討会」を開催し、昨年11月から本年1月にかけて発生した高病原性鳥インフルエンザ(以下「本病」という。)の事例について、現地調査、分離されたウイルスの特徴等に基づき、感染経路の究明に向けた検討及び本病の発生予防対策の強化・徹底について検討を行いました。

これまで、本病の発生確認に伴い、家きん飼養者に対する発生予防対策の助言・指導、早期発見及び早期通報の徹底、さらには、万一発生が確認された場合の迅速かつ的確な初動対応の徹底をお願いしてきたところです。全国的に野鳥等でも本病のウイルスが確認されており、いづどこにおいても、本病が発生するおそれがあることから、家きん飼養者に対し、引き続き、日頃から異状の早期発見・早期通報も含めた厳重な警戒を要請するとともに、発生予防対策として、特に下記について助言・指導方お願いします。なお、助言・指導に当たっては、別添資料も御活用ください。

記

1. 野鳥、ねずみ等の野生動物対策の徹底が重要であり、小型の野生動物が家きん舎の外部から侵入し得る経路がないかといった点検に加え、野生動物を家きん舎近くに寄せ付けない対策も重要である。家きん舎周辺の整理・整頓(家きん舎周辺に野生動物の隠れ場所となる物品は置かないことや、家きん舎周辺の草刈り)、周辺の樹木の枝が家きん舎まで伸びている場合にはその剪定といった取組も効果的である。
2. また、本病のウイルスが人や車両を介して農場内に、さらには、家きん舎内に持ち込まれることを防止する観点から、車両については農場の出入口で入念に消毒を行い、家きん舎に入る者については、特に手指及び長靴の消毒、家きん舎専用の衣服及び長靴の使用を徹底させる必要がある。これらの措置については、その実効性を確保するためにも、例外を作らず(どんな場合でも確実に実施する。)、衣服や長靴の定期的な洗濯・洗浄、記帳により習慣付けるといった取組が重要である。

畜安第843-3号

平成29年2月7日

(公社) 埼玉県獣医師会長 様

埼玉県農林部畜産安全課長

岩 田 信 之 (公印省略)

韓国における口蹄疫の発生について (通知)

日頃から家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

さて、平成29年2月5日、韓国において約11か月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました(詳細は別添資料参照)。そのため、我が国における口蹄疫の発生リスクは一段と高まった状況です。

つきましては、以下の点について貴会会員に周知のうえ、引き続き、防疫対策の徹底をお願いします。

記

1 海外渡航等の自粛について

畜産関係者の口蹄疫が発生している国への渡航及び発生している国の畜産関連施設由来の郵便物等の受取りを可能な限り自粛してください。仮に渡航する場合及び口蹄疫が発生している国から郵便物等を受取る場合には、以下の点に留意してください。

(1) 渡航に当たっての留意事項

ア 農場やと畜場などの畜産関連施設に立ち入らないこと。

イ 肉製品等を日本に持ち帰らないこと。

ウ 帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること。

(2) 帰国後の留意事項

ア 飼養衛生管理基準に基づき、帰国後一週間、衛生管理区域に立ち入らないこと。やむを得ず立ち入る場合は、洗髪・入浴、更衣等適切な処置を講じた上で立ち入ること。

イ 飼養衛生管理基準に基づき、海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域に持ち込まないこと。やむを得ず持ち込む場合には、事前に洗浄、消毒その他必要な措置を講ずること。

(3) 郵便物、貨物等の受取りに当たっての留意事項

畜産関連施設由来の郵便物等は、衛生管理区域内に持ち込まないこと。やむを得ず持ち込む場合には、事前に洗浄、消毒その他必要な措置を講ずること。

2 早期通報の徹底について

口蹄疫の発生時は初動対応が非常に重要です。家畜の種類ごとに農林水産大臣が指定する症状(特定症状:別紙参照)を確認した等、疑いのある家畜を発見した際には、速やかに最寄りの家畜保健衛生所に通報するようお願いします。

埼玉県における豚流行性下痢（PED）の発生について

平成29年 2 月14日

埼玉県農林部畜産安全課

平成29年 2 月13日（月）、県内の一養豚農場において、今季 2 例目となる豚流行性下痢（PED）の発生が確認された。

1 発生の概要

- （1） 発生農場：繁殖豚60頭飼養の一貫経営農場（羽生市）
- （2） 症状：繁殖豚の食欲不振・下痢、哺乳豚の嘔吐・下痢
- （3） 発症頭数：繁殖豚 1 頭、哺乳豚 8 頭

2 経緯

- （1） 2 月12日（日）に繁殖豚 1 頭の食欲不振及びその哺乳豚 8 頭の嘔吐・下痢を畜主が確認した。
- （2） 2 月13日（月）、現地家保が農場立入し、繁殖豚 1 頭・哺乳豚 8 頭の下痢を確認した。
- （3） 同日、これら発症豚の糞便 5 検体を材料に、遺伝子検査を実施し、5 検体全てで陽性を確認。臨床症状と併せて、本症例を豚流行性下痢（PED）と診断した。

3 県の対応

- （1） 2 月13日（月）、発生農場に対し、感染拡大防止のため豚舎や車両の消毒等の徹底を指導するとともに、豚の移動自粛を要請した。
- （2） 2 月14日（火）、県内全養豚農場に対し、電話等により豚の緊急調査を実施するとともに、豚舎や出入り車両の消毒等の徹底及びワクチン接種を指導した。

4 その他

- （1） 本県の発生状況
本県では、平成27年度に 5 例の発生があり、平成28年度は12月26日に 1 例目の発生を確認している。
- （2） 全国の発生状況（平成28年 9 月以降の発生について）
平成29年 2 月 6 日現在、茨城県や群馬県など計12県35例6,855頭の発生がある。

PEDは、家畜伝染病予防法で指定される豚の「届出伝染病」であり、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの殺処分を義務付けている「家畜伝染病」には指定されていない。また、人に感染することはない。

切り抜きニュース

犬猫推計飼育数 —昨年ともに微減—

ペットフードメーカーの業界団体「一般社団法人ペットフード協会」（東京都）は17日、2016年の全国犬猫飼育実態調査の結果を発表した。推計飼育数は犬が前年比0.4%減の987万8千匹、猫が0.3%減の984万7千匹で、どちらも前年からほぼ変わらず、小差のままだった。1994年の調査開始時から一貫して犬が猫を上回ってきたが、犬の推計飼育数はピークだった08年の1310万匹から減少。一方、猫は横ばい状態が続く。



朝日新聞 1月18日(水)

イヌ・ネコの国内流通 85万匹

2015年度に国内で販売されるなどした犬猫は少なくとも約85万匹で、前年度より約10万匹増えていることが朝日新聞の調査で分かった。流通量の増減のデータはこれまでなかった。流通量の3%にあたる約2万5千匹の犬猫が流通過程で死んでいたことも判明した。

改正動物愛護法（13年9月施行）で、繁殖業者やペットショップなどは「犬猫等販売業者定期報告届出書」を自治体に提出することが義務づけられた。流通の実数を把握するため、朝日新聞は14年度分と15年度分について、この事務を所管する都道府県や政令指定都市など99自治体にアンケートした（回収率100%）。

集計の結果、15年度は犬約69万1千匹、猫は約15万6千匹が販売・譲渡されていた。15年度は、14年度より自治体に届出書を提出した事業所数が少ないが、それでも14年度比で犬は約7万5千匹

（12%）増、猫は約2万3千匹（17%）増で、ペットブームが続く中、国内流通量は増加していることが分かった。

また、繁殖から小売りまでの流通過程での死亡数（死産は含まない）は犬1万9866匹、猫は5088匹の計2万4954匹。14年度も死亡数は計2万3181匹で、両年度とも流通量の3%にのぼる。これは環境省が09年にペット店を対象に調査した際の推計値の33倍にあたる。

環境省の調べでは、15年度の全国の自治体における殺処分数は犬1万5811匹、猫6万7091匹。自治体や市民団体などの努力で、保護犬や保護猫を引き取る意識は高まってきてはいるが、流通量の増加により安易な飼育放棄が増えることも懸念されている。

朝日新聞 1月27日(金)

別種動物で臓器作製 —世界初、移植治療で効果確認—

体のあらゆる細胞になるマウスの人工多能性幹細胞（iPS細胞）や胚性幹細胞（ES細胞）を、種の異なるラットに入れ、ラットの体内でマウスの膵臓（すいぞう）を作ったと東京大学などのチームが25日付の英科学誌ネイチャー電子版に発表した。膵臓を糖尿病のマウスに移植すると、正常に働き症状が改善した。別の種類の動物で臓器を作り、移植の治療効果を確かめたのは世界初。

将来の再生医療の一つとされる動物での人の臓器作りに向けた第一歩。ただ人の場合は、技術的な問題のほかに倫理的な課題も多く、実現にはまだ遠い。

東京大学の山口智之特任准教授は「別の動物で作った臓器を利用した移植医療の有効性と安全性を示せた」と話した。今後サルのiPS細胞を使い、ブタでサルの臓器を作る研究を進める方針。

マウスとラットは体の大きさも異なり全く別の種。チームは、遺伝子を狙い通りに改変する「ゲノム編集」の技術で、膵臓を作る遺伝子のないラットを作った。このラットの受精卵にマウスのiPS細胞やES細胞を注入すると、成長したラットはマウスの細胞でできた膵臓を持っていた。

膵臓に含まれる膵島（すいとう）という組織は血糖値を調節するインスリンを分泌していた。糖尿病のマウスに移植したところ、1年以上、血糖値を正常に保った。膵島にはラットの血管が残っていたが、移植後にマウスの血管に置き換わった。

埼玉新聞 1月26日(木)

平成28年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成29年2月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
平成28年4月			
5月			
6月5日(日)		北支部 「動物の呼吸器疾患の診断と治療」 日本大学 山谷 吉樹 先生 (深谷市 深谷市男女共同参画推進センター)	
6月17日(金) ～19日(日)	第92回日本獣医麻酔外科学会／第104回日本獣医循環器学会／第59回日本獣医画像診断学会 2016春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7月18日(月・祝)		東支部 「皮膚をアップデートする！ 世界獣医皮膚科会議をふまえて」 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7月24日(日)		南第一支部・南第二支部 「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療・予後(2)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川口市 川口総合文化センター)	
8月			
9月4日(日)		東支部 「日常の診療に役立つ!!運動器疾患に対する 最新の情報を知っておこう～猫の整形外科 疾患・超音波検査を中心とした新たな画像 診断手法～」 日本大学生物資源科学部 枝村 一弥 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
9月11日(日)	平成28年度 関東・東京合同地区獣医師大会 (川崎) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (神奈川県川崎市 ホテルKSP)		
10月2日(日)		南第一支部・南第二支部 「猫の腎臓病」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
10月12日(水)	北支部 「開発者から伝えたい、明日からの 診療に役立つ…抗菌薬情報」 鹿児島大学 松本 修治 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月22日(土)	北支部・しゃくなげ会・畜産技術振興会 「仔牛の飼養管理と疾病予防 対策について」 酪農学園大学 大塚 浩通 先生 (深谷市 埼玉県農林公園)		
10月30日(日)		西支部 「犬の循環器診療アップデート」 東京動物心臓病センター 岩永 孝治 先生 (川越市 川越西文化会館)	
11月27日(日)		東支部 「遭遇頻度の高い脳疾患」 日本獣医生命科学大学 長谷川 大輔 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
12月4日(日)		西支部 「猫の循環器診療アップデート」 東京動物心臓病センター 岩永 孝治 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月11日(日)		北支部 「最新内視鏡検査の基本手技／難治性消化器疾患に遭遇したら」 日本大学 亘 敏広 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館 さくらめいと)	
12月18日(日)		南第一支部・南第二支部 「犬の特発性てんかん・特発性脳炎の診断と治療」 東京大学 松木 直章 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
12月22日(木)	農林支部 平成28年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉県県民健康センター)		
平成29年 1月15日(日)		西支部 「膝関節疾患へのアプローチと外科テクニック」 東京大学附属動物医療センター 本阿彌 宗紀 先生 (川越市 川越南文化会館)	
1月15日(日)		北支部 「緑内障の診断と治療」 どうぶつ眼科EyeVet 小林 一郎 先生 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷)	
1月26日(木)			衛生支部 健康福祉研究発表会 (さいたま市 埼玉県県民健康センター)
1月29日(日)		さいたま市支部 「疾患と問題行動の関わり」 東京大学附属動物医療センター 荒田 明香 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
2月24日(金) ～26日(日)	平成28年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (石川) (石川県立音楽堂ほか)		
2月25日(土)			衛生支部 食肉衛生技術研修会 (さいたま市 埼玉県食肉衛生検査センター)
3月5日(日)		さいたま市支部 「災害時に伴う問題行動とその予防」 東京大学附属動物医療センター 荒田 明香 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
3月12日(日)		西支部 「下部呼吸器疾患の診断と治療」 日本獣医生命科学大学 藤田 道郎 先生 (川越市 川越南文化会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

(2月号)

- | | | | |
|-----------|--|-----------|--|
| 1月15日 | 北支部研修会・新年会(深谷市 埼玉
グランドホテル深谷) | 2月21日 | 平成29年度集合狂犬病予防注射関係資
料売買契約会(さいたま市 埼玉県農
業共済会館) |
| 1月16日 | 知事と農林水産業団体長との懇談会
(さいたま市 知事公館) | 2月23日 | 畜産懇話会(熊谷市 ホテルヘリテイ
ジ) |
| 1月20日 | 日本獣医内科学アカデミー関係学術懇
談会(さいたま市) | 2月23日 | 埼玉県畜産会役員会(熊谷市 ホテル
ヘリテイジ) |
| 1月22日 | 西支部新年会(川越市 川越東武ホテル) | 2月24日～26日 | 平成28年度日本獣医師会獣医学
術学会年次大会(石川)(石川県金沢市
石川県立音楽堂ほか) |
| 1月22日 | 東支部新年会(越谷市 越谷サンシティ) | 3月5日 | さいたま市支部学術講習会(さいたま市
大宮ソニックシティ) |
| 1月22日 | 関東東京地区獣医師会災害動物対策会
議(横浜市 崎陽軒本店) | 3月10日 | 第4回狂犬病予防委員会・第2回班長会
議(さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 1月26日 | 損害評価会家畜共済部会(さいたま市
埼玉県農業共済会館) | 3月11日 | 日本獣医皮膚科学会学術大会式典(さ
いたま市 パレスホテル大宮) |
| 1月26日 | 健康福祉研究発表会(さいたま市 埼玉
県県民健康センター) | 3月12日 | 西支部学術講習会(川越市 川越南文
化会館) |
| 1月29日 | さいたま市支部学術講習会(さいたま市
With Youさいたま) | 3月14日 | 第4回総務委員会(さいたま市 埼玉
県農業共済会館) |
| 1月29日 | さいたま市支部新年会(さいたま市 ブ
リランテ武蔵野) | 3月21日 | 第5回日本獣医師会理事会(東京都港
区 日本獣医師会) |
| 1月29日 | 南第1支部新年会(草加市 一成) | 3月23日 | 第5回理事会、第6回理事会(さいたま
市 埼玉県農業共済会館) |
| 2月2日 | 所得税確定申告・相続等個別相談会(さ
いたま市 埼玉県農業共済会館) | 3月24日 | 平成28年度学校法人シモヅノ学園大宮
国際動物専門学校卒業式(さいたま市
パレスホテル大宮) |
| 2月4日 | 埼玉県医師会賀詞交歓会(パレスホテ
ル大宮) | 3月28日 | 埼玉県オーエスキー病防疫協議会(さ
いたま市 さいたま共済会館) |
| 2月5日 | 平成28年度第3回関東・東京合同地区
獣医師会理事会(川崎市 川崎日航ホ
テル) | 4月2日 | 平成29年度第1回関東・東京合同地区
獣医師会理事会(東京都千代田区 都
市センターホテル) |
| 2月7日 | 平成28年度埼玉県狂犬病予防協会研修
会(桶川市 さいたま文学館) | 6月7日 | 埼玉県獣医師会第69回定時総会(さい
たま市 大宮ラフォーレ清水園) |
| 2月12日 | 埼玉県獣医師会ボウリング大会(さい
たま市 スポーツ浦和国際ボウル) | | |
| 2月17日～19日 | 第13回日本獣医内科学アカデ
ミー学術大会(神奈川県横浜市 パシ
フィコ横浜) | | |
| 2月19日 | 麻布大学教育セミナー(さいたま市ラフ
レさいたま) | | |

編集後記

2月4日に立春を迎え、17日からは関東ローム層の表層の赤土を巻き上げた春一番と二番の洗礼を受け、いよいよ春がやってきました。関東地方の春一番の定義は、時期は立春から春分の日の間で、日本海に低気圧が発達し、そこに向かって太平洋側から吹き込む強い南風をいうそうです。この冬は、北西からの風に乗ってやってくる渡り鳥とともに鳥インフルエンザが襲来し舞い降りて甚大な被害をもたらしました。南風に乗って早く大陸へ帰ってほしいものです。朝鮮半島では口蹄疫までが感染拡大を続けています。我が国の家畜防疫はまさに戦時臨戦態勢です。

2月は内科アカデミーと日本獣医師会の年次大会が開催されます。内科アカデミーでは15会場が同時進行であるので最大でも1/15(7%)の聴講ということでした。家庭動物における終末期獣医療を死生学からのアプローチをテーマとした講演に参加してみました。一般に犬や猫を対象とした獣医療の終末期、救命のための有効な治療法が見いだせないとき獣医師や飼い主は極めて短絡的に安楽死に思いを巡らして悩むことが多いようです。この講演では仏教思想に基づいて死と死の意味を分析し、飼い主とともに動物の生をどのように全うするかという視点に立って終末期の迎え方、過ごし方について論じられていました。医療システムの中では、平成19年に厚労省が『終末期医療の決定プロセスにおけるガイドライン』を策定し、患者の意思を尊重しつつより良い終末期を迎えられるような医療体制の整備を行っています。このガイドラインに沿う形で、平成26年度には『人生の最終段階における医療体制整備事業』が実施されています。この事業においては終末期医療やケアの方法を決定するにあたっての専門家チームを編成することやそのチームの育成に事業予算が当てられています。動物の場合は、終末期の迎え方に対するガイドラインなどはなく、全てその決定は個人に委ねられています。終末期を迎えた動物の飼い主や診療にあたる獣医師の精神的負担は測りようのないほどに大きいものがあります。医療は専門医療や高度医療が整備

確立しているうえでさらに人生の最終段階における医療体制の整備ではありますが、動物は家庭医の延長で終末期を迎えるわけで、開業獣医師の精神的・肉体的負担は荷重とも言えます。一般的な開業獣医師を前提とした、終末期獣医療の決定プロセスに対するガイドラインなどを獣医師会が策定し、個人の獣医師の精神的負担を軽減する方策なども考えていただきたいものです。このことの反射的利益は、終末期を迎えた動物の飼い主にあると思われますので公益事業のひとつとして考えることもできるでしょう。

このほど健康保険組合連合会から公表された平成25年度の『高額医療交付金交付事業』に申請された医療費のうち、1か月の医療費が1,000万円以上のものは336件、500万円以上のものは5,018件あったそうです。100万円以上の医療費をみると、100万～200万円は128,363件、200万～300万円は38,053件、300万～400万円は12,873件、400万～500万円は5,112件の申請があったそうです。これが高度専門医療を支える財政の実態です。犬や猫の飼育頭数が日本の人口の10%と仮定した場合、1か月で500万円の獣医療費を負担できる人が500人存在するのでしょうか。100万～500万円未満の獣医療費を1万8千人の人が負担できるのでしょうか。獣医療費の公費負担が実現しない限り、高度専門獣医療は実現不可能でしょう。現実是一次獣医療の延長線上で終末期獣医療を担うことでしょう。獣医師は新生児・小児科から終末期までを一人で受け持っています。現実を踏まえ終末期に対する飼い主の希望にかなう獣医療の提供を模索する時期が来ていると感じました。死生学の目的はいかに生きるかということにつきまします。仏教では『生死は一体』と考えます。生き生きと生活し、善く死ぬことこそ生物の使命とも考えられます。遺伝子は永遠ですが、身体は一代限りです。仮の宿ともいえる身体に宿った遺伝子をその一代で輝かしいものにすることは飼い主と獣医療従事者の使命かも知れません。会員の皆様のご健闘をお願いしつつ2月号をお届けいたします。(初雁)



株式会社 **アスコ**
http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

**営業所
所在地**

- ・東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

皮膚・被毛 腸内環境 抗酸化成分

胃腸と皮膚が気になる犬に



ドクタークレド
Dr. CREDO No.1
成犬用 総合栄養食 1kg・3kg

抗酸化成分 心臓・腎臓 活力の維持

血流と健康が気になる犬に



ドクタークレド
Dr. CREDO No.2
中・高齢犬用 総合栄養食 1kg

国産品 小分けパック 毛玉対応

下部尿路が気になる成猫に



ドクターアイデア
Dr. IDEA No.1
成猫用 総合栄養食 150g×6入

Ⓜ **森久保薬品株式会社**

神奈川：046-221-0620 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 山梨：055-224-5278 栃木：028-666-3399 茨城：029-241-3131
つくば：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228

TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870

TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24

TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243

TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1

TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4

TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564